

SAGA Doctor-S プロジェクトの推進と 佐賀大学医師育成・定着プラン（仮称）の検討状況

佐賀県健康福祉部医務課
医療人材政策室
令和2年9月30日

医師定着のために SAGA Doctor-S プロジェクトを展開！

3つの「S」の視点で様々な取組を実施

Spirit

1 佐賀県で学び・働き・活躍する「志」と「誇り」を！

日本の医療のあけぼのは佐賀。臨床現場で活躍する医「志」を育て、
医療人としての「誇り」を醸成

Settlement

Support

2 医師を育てるオール佐賀のサポート体制を！

佐賀での医師の「学ぶ・働く・暮らす」をサポート！
UIJターンや学び直しも応援

Satisfaction

3 働きやすく・働きがいのある医療機関へ！

医師のみならず医療従事者が「働きたい！」
と思える勤務環境改善を推進

佐賀の医療の将来を担う医師の育成・定着を「オール佐賀」で支援！



医療の途を目指す若者の「志」を醸成！

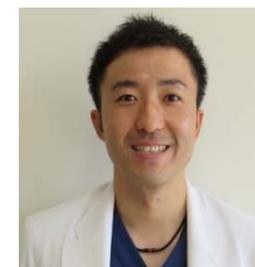
初開催 「医“志”を知るセミナー」

～自治医科大学・佐賀大学医学部医学科合同進学説明会～

現役医師の**熱血講演**を通じて、若者の**医“志”**を育むと同時にその**熱意**を応援！
個別相談会で医師の**リアルな魅力**も体感！



(講演者)



国立病院機構
嬉野医療センター
救急科
小野原 貴之先生



佐賀大学医学部附属病院
一般・消化器外科
田中 智和先生

日時 令和2年8月30日（日）15時30分～

場所 グランデはがくれ「フラワーホール」

対象 医学部進学を検討している受験生と保護者

内容 ①自治医科大学、佐賀大学医学部OB医師の**熱血講演**！
②自治医科大学、佐賀大学医学部の紹介
③個別相談会

○高校1・2年生向けセミナーも同時並行して開催中
8/28佐賀西・10/6致遠館・10/8東明館・10/23鳥栖・10/26伊万里



「働きやすい医療機関づくり」に向けてキックオフ！

「働きやすい病院つくりフォーラム」を開催

山口知事、**裊 英洙**さんの講話、そして病院長たちの**熱いディスカッション**も！
はい えいしゅ

医療現場の働き方改革は喫緊の課題。医師が「**働きたい**」と思える勤務環境を徹底討論！



裊 英洙 氏

(はい えいしゅ)

慶應義塾大学特任教授／
ハイズ株式会社代表取締役社長

- ・ 医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会委員
- ・ 医師の働き方改革に関する検討会委員
- ・ 医師需給分科会委員

日時

令和2年9月4日（金）16時～

場所

ホテルニューオータニ佐賀

参加者

医師育成に責任のある病院長
子育て経験のある女性医師 等



※一般病院の病院長、希望する医師等はWEB視聴可

佐賀大学医師育成・定着促進プラン（仮称）策定委託事業（案）

背景

- 高齢人口の増加に伴い医療需要が高まる一方、若年層の医師が減少しており、医師の育成と定着促進が必要
- 医療法の改正に伴い県の機能が強化されたが、医療政策は極めて専門的分野であり、行政のみでは対応が困難
- 県内で医師を養成する佐賀大学医学部の重要度が増しているが、医療政策や医療人材の育成に特化した部門がなく、オール医学部としての魅力的な教育システムの構築が課題

目的

- 佐賀県全域で働きたいという医師を育成するため、オール医学部で医師を育てる体制を構築

事業概要（令和2年度）

- 大学が行う医師育成・定着促進の取組を協議するための会議体を佐賀大学医学部に設置し、「佐賀大学医師育成・定着促進プラン（仮称）」を策定

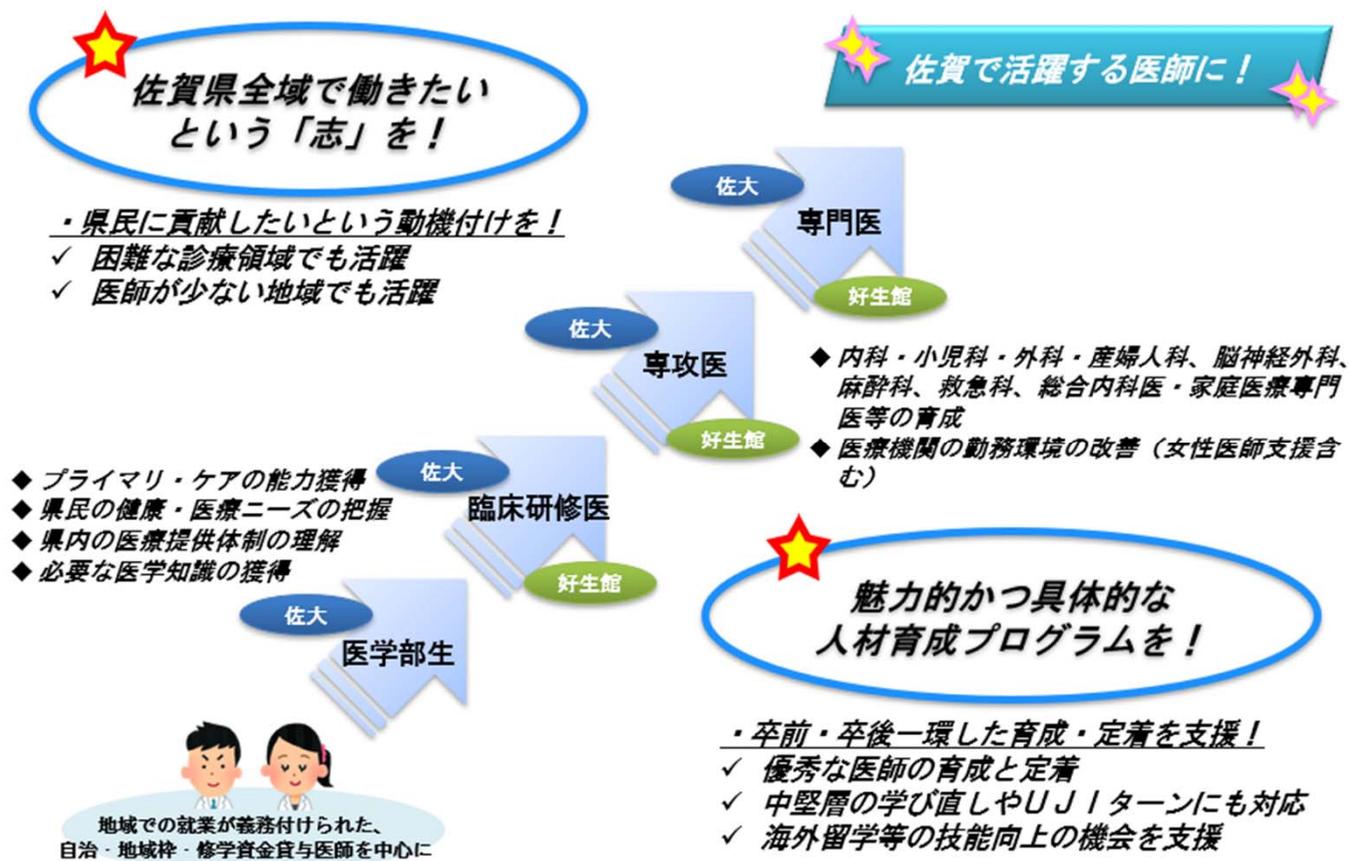
例)

- 地域医療政策や医療人材の育成に関する学術研究を行う講座の設置
- 佐賀に定着するための教育機会を通じた意識の醸成（里親制度、同窓ネットワーク等）
- 大学の新たな教育カリキュラムの整備
- 臨床・専門研修における好生館との協力体制の構築
- 医師定着のための勤務環境改善 等

事業費

- 3,036千円

育成促進のための取組（イメージ）



これまでの検討状況（概要） ※次回以降具体的に意見交換

- 医師の育成支援のあり方について、佐賀大学・好生館・県において、意見交換を実施しているところ。
（佐大：山下病院長、末岡医学部長、江村卒後臨床研修センター副センター長、好生館：佐藤館長、県：桐野医療顧問、野田医療統括監。今年度3回開催し）
- 具体的な議論は次回以降の地対協においても行うが、追加すべき視点等がないか意見を伺いたい。

○自治・地域枠医師の支援だけではなく幅広い卒前・卒後教育の充実

- ・自治の義務年限終了後の定着や、地域枠医師をより優秀な医師に育てるようすべきではないか
- ・医学部生全体へのアプローチも必要ではないか
- ・海外留学などの支援を行ってはどうか

○医局に所属していない医師への支援

- ・医局に所属していない医師の場合「つながり」がなく、県外流出等につながりやすいのではないか
- ・医局が持つ機能の補完が必要ではないか

○シニア医師の支援

- ・60歳を超えたシニア医師の活躍の場の提供をどのようにするか

どこで能力を発揮するのか？
医療ニーズはあるのか？

○中堅層への支援

- ・診療科のキャリアを早く終えてしまう医師への支援をどのようにするか

○学び直し希望医師への支援

- ・転科、開業、復帰等のため学び直しを希望する医師へどのような支援が必要か

○開業予定・事業継承予定医師への支援（再掲）

- ・若手医師が高度に専門化している現状を踏まえ、開業医として診療できるためにどのような支援が必要か

必要な視点・機能

- ①キャリアコンサルティング機能
- ②教育企画実施機能
- ③公衆衛生学的分析研究機能